

令和7年度 病院事務部 重点施策の実施結果

達成
状況

S … 目標を上回る結果となった
A … 目標通り達成した
B … 達成したが課題が残っている
C … 達成できなかった

総 括	・外国人看護補助者の定着のため、採用前後の院内受入体制を整備し、外国人看護補助者が安心して働ける環境を整えました。この取り組みにより、不足する看護補助者の確保と看護補助者の教育体制の構築に繋げることができました。 ・省エネ対策とコスト削減に病院全体で取り組み、使用電力量は前年比6.9%の削減、診療衛生材料費は600万円以上の削減効果を捻出することができ、いずれも目標を達成しました。物価高騰の長期化が懸念される中で、今後も、院内全体で継続して取り組んでいきます。 ・菊川市立総合病院第5次中期計画で掲げた、8つの重点課題に院長を筆頭に病院全体で取り組みましたが、最終的な改善指標となる数値目標は達成することができませんでした。物価高騰が目標達成の大きな壁となっていますが、今後も、積極的に収益を増やし、費用を削減する取り組みを進めていきます。 ・この地域の医療提供体制を維持するため、家庭医の招聘に積極的に取り組みました。中東遠圏域サイト全体で3名を採用し、目標を達成しました。また、3名のうち1名は菊川市家庭医療センターに配属され、菊川市の安定した医療提供に貢献することができました。 ・今回の診療報酬改定は、病院の経営に大きく影響することから、新たな施設基準の取得や上位基準への移行をするため、情報収集・分析、院内説明会の実施を確実に行いました。今後も、令和8年6月の診療報酬改定実施に向けて、対応を進めていきます。
------------	---

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	外国人看護補助者の雇用 (病院総務課)	令和7年10月頃の採用に向けてスケジュールを確認し、外国人看護補助者の受入れ準備を進めます。また、採用した外国人看護補助者の定着のため、院内関係部署と連携し受入れ体制を整備します。	院内での外国人看護補助者の雇用が定着するよう、採用前、採用後の院内体制を整備します。 ①準備委員会の設置	A	院内関係部門で組織するワーキングを設置し、受入れ体制を整備しました。これにより、採用前、採用後の課題解決に繋げることができ、結果、外国人看護補助者が安心して働ける環境を整えることができました。
			②職員を対象とした優しい日本語講座&コミュニケーション講座の開催	A	8月6日に優しい日本語講座、8月28日には異文化理解講座を開催し、職員の理解向上と不安解消に繋げることができました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
2	省エネルギー対策 とコストの削減 (病院総務課)	引続き院内照明器具のLED照明への改修を行い、使用電力の削減を進めます。また、空調設備の長寿命化改修により改修コストの削減を図ります。 引き続き中東遠5病院での診療材料の共同購入を進め、購入コスト削減を図るとともに、物価高騰による材料・保守コストの増を最小限とするため業者との価格交渉を行います。	①節電の取り組みを行い使用電力量を前年比3%削減します。 ②診療衛生材料費予算1%分(598万円)の価格削減効果※を捻出します。 ※価格削減効果 価格削減額×年間使用見込数	S A	院内のLED化計画を確実に進めるとともに、院内部署ごとに、夏と冬の省エネルギー計画を決めて取り組みと振り返りを行いました。その年の平均気温や入院患者数の影響もありますが、前年比6.9%の削減となりました。 院内に材料費削減のためのタスクフォースを設置し、今年度から導入したベンチマークシステムをもとに、関係部門と連携して積極的に価格交渉を行うことで、600万円以上の削減効果を捻出することができました。
3	菊川市立総合病院 第5次中期計画 (公立病院経営強化プラン)の推進 (経営企画課)	令和6年度からの菊川市立総合病院第5次中期計画(公立病院経営強化プラン)の推進にあたり、当院の重点課題である「①高齢者の入院受け入れ体制の強化」、「②外来診療の充実及び病診連携の推進」、「③整形外科領域の強化」、「④チーム医療の推進」、「⑤先制医療、在宅療養後方支援、在宅復帰支援の推進」、「⑥精神障がい者の支援体制の充実」、「⑦組織開発の促進と人材確保」、「⑧組織体制の見直しと業務改革・コスト削減」の8つの重点課題に取り組めます。	菊川市立総合病院第5次中期計画(公立病院経営強化プラン)で定めた8つの重点課題に係るアクションプランを実行し、病床稼働率を73.8%以上、修正医業収支比率を88.6%以上とします。 (R6年度実績:病床稼働率71.7%、修正医業収支比率84.2%)	C	第5次中期計画で掲げた8つの重点課題について、院長を中心とした経営層の職員による中期計画推進会議での検討や協議を重ね、内科紹介状制度の見直しや産科分娩休止、コスト削減等、経営改善や課題解決に向けた様々な取り組みを行い、医業収益は、過去最高額を達成することができました。 しかし、昨今の人件費の増加や物価高騰の影響を受け、修正医業収支比率84.8%、病床稼働率72.7%と目標達成には至りませんでした。 今後も医業収支比率の向上を目指し、経営改善に向けた取り組みを進めていきます。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
4	家庭医の招聘 (経営企画課)	浜松医科大学とも連携し、静岡家庭医養成協議会で家庭医の招聘を進め、この地域への定着を推進します。	令和8年度採用研修医を 中東遠圏域のサイト全体 で3名以上確保します。 (中東遠圏域のサイト全 体の令和7年度4月1日 採用実績は2名)	A	静岡家庭医養成プログラムに応募のあった6名のうち、静岡家庭医養成協議会における令和8年度の研修医採用人数は3名でした。 今年度については、目標を達成することができましたが、今後も、見学者の対応やリクルート活動を積極的に行い、家庭医の招聘に努めてまいります。
5	診療報酬請求事務 の適正化 (医事課)	令和7年度までの経過措置項目への対応や令和8年度に予定されている診療報酬への対応のため、関連する情報を収集・管理分析し、院内関係部署へタイムリーに情報を発信します。	診療報酬改定に対応するため、関連する情報を収集・分析し、院内関係部署等へ情報を2回以上発信します。	A	診療報酬改定に向け情報収集・分析を行い、説明会を開催しました(主要な説明会:管理会議3回、調整会議4回、全体説明会を計画(4月実施))。また、情報収集においては、WEB等の説明会に出席し、関係部署と情報共有を行い、対応を進めることができました。 今回の改定は、医療従事者の賃上げや物価高騰への対応を背景に、令和8年度と令和9年度の2年間にわたって、段階的に価格が引き上げられます。また、当院では急性期から在宅までの一体的な体制をより強化するため、「急性期病院B一般入院料」等の取得による体制強化と、回リハ病棟を3から1へ上位基準の移行により、リハビリ機能の充実を図るよう進めています。 今後、改定内容への対応や施設基準取得、経過措置項目への対応を進めます。